

560.1

'85.1月 No.232

OMC ニュース

発行 OMC事務局
 大阪市南区谷町6-8-13
 スタジオ新屋内tel761-0034

★新年おめでとうございます

今年はいよいよ8ミリビデオが登場します。1/2テープに迫る画質ならムービー界に大きな影響をあたえることでしょう。

しかし、ビデオは雑談しながら見るという宿命を持った茶の間の映像。寸秒のフィルムに全神経を注いで創り、見るムービーとは根本的に性格が違います。

8ミリの魅力は重厚です。10月の発表映写会を目標に、長年培ってきた情熱を作品づくりにぶっつけましょう。頑固な8ミリ党ばんざい！ (川畑)

★新年宴会のお知らせ

待望の？新年宴会は1月27日(日曜)6時より、阿倍野区松崎町2-3-9 以和貴荘 ☎622-1275 にて。23日(水)までに会長まで電話か、ガキで申込んで下さい。会費5千円。地図は例会にて説明。多くのご参加をお待ちします。

★12月例会レポート

有村氏初司会による師走例会Aコーナー、香島氏「盆おどり」

上映中映写機から音が出なくなり応急処置によるテレコを経由して音を出すというハプニングあり。町内会の人に見せるためにまとめられた作品。「大津祭り」那須さん、びわ湖周辺も入れナレを入れたらよくなりそのような作品。60フィートコーナー「花暦四季の歌」有村氏、「青いポーチ」で使ったフィルムの残りで歌謡映画だがなかなかの出来。「秋祭り」江村氏、心象的なカットと説明的なカットがあるが前者に統一してはの声あり。しかしよい作品だ。参考作品「報復」川畑氏、フジ世話役合同作品の大活動写真？こんな楽しみ方もあるといった作品。「スリランカの顔」上総さん、全日本旅の映画コン2位入賞の立派なもの。しばし海外映画撮影のコツにつき話に花が咲いた

★前年度グランプリは前田氏
 他に会長賞杉之下氏、OMC賞上総氏、月例優秀賞河口礼志氏

★1月例会は26日(土)18時20分開会、府教育会館(合原記)

★「お久しぶりね」の顔も見えた1月例会、大入りで開幕

今年初の例会は1月26日、府教育会館で行われたが、どういうわけか？大入りの盛況。めったに例会へ顔を見せられない会員さんもやってきて「やあ、お久しぶり」の挨拶があちこちでかわされた。

★ランプ断線で時間つなぎに四苦八苦の司会の有村氏

今月は吉野国栖撮影会作品の公開コンテストが予定され、作品も続々と集ったが、さて上映という段になって映写機のランプが断線、予備が無かったため山形氏が急ぎ自宅へ取りに帰るといふハプニング発生。おかげで司会の有村氏、時間つなぎに四苦八苦。とうとう時間が足りなくなって公開審査を取りやめ会長らに後日審査をお願いすることにし、ようやく約40分遅れで上映開始。先着順作品4本を参考上映することになった。今年ハ8ミリ波乱の前兆か？

★いずれ劣らぬ力作揃い

撮影会作品「国栖」今井氏、脚本に忠実によくまとめられたナレが多いのでカット不足で悩まされた由。「吉野紙のふるさと国栖」合原氏、シングル作品だが色の不揃いで可成り損された。期限切れフィルムが混入していたというのが原因らしい。撮影に行くときはフィルムの有効期限をよく確かめたい。「国栖をたずねて」有村氏、いい色に仕上がっている。編集も手際がよいが村のふかん場面のズームバックが2回出てくるのはやゝ気になった。「国栖の里」山形氏、美しいカットが印象的。会員さんから溜息がきこえる。上位入賞間違いなしか。

時間切れで上映できなかった香島、河口、那須、杉之下各氏の作品は、またのお楽しみ。

★新入会者・茨木の松川謙さん
よろしくお祈りします。

★2月例会は23日(土)18時20分
分開会、府教育会館(合原記)

★春遠からず…

今年の冬も寒いかと思っていたが、このところ氷の張らない日が続く。春遠からじ、といった感じで、早春を描きたい人はウデもムズムズというところか

★8ミリ質疑に花が咲く

さて、2月例会も前月に引続き「国栖」撮影会作品の上映が続き、一般月例は新人の松川氏の作品1本だけだった。おかげで時間がたっぷり余り、ふだん話し合う機会もなかったので、このときとばかり質疑応答に花が咲き、作品鑑賞とは別の例会の楽しさが味わえた。

★「国栖」特選は山形、河口氏

「北野梅花祭」松川氏、スケッチ風に気軽にまとめられた。「吉野紙のふるさと・国栖をたずねて」岡本氏、一作ごとに上達の跡ありあり。「吉野紙のふる里・国栖」那須氏、脚本に忠実によくまとめられており入選「吉野国栖の里」杉之下氏、さすがベテランの味、要領よくツ

ボを心得た作でこれも入選。「吉野紙のふるさと国栖」河口氏、若手新進作家だけに選曲も印象的でカットもよい。先月上映された山形氏と並んで特選に輝いた。同じく先月上映の今井作品も入選となり、川畑会長よりまとめて発表された。

★優劣つけ難かったと会長評

「皆よく出来ており優劣つけるのに苦労した。作品がいろいろなのに録音が今ひとつとか、祭りが無い方が良かったとか、主題とは違う材木市場の描写がマイナスだったとか、惜しいところで減点となった。特選となった山形作品はソツがなく画もよかった。川口作品は写真が入ってかえってマイナスとなったが総合的には優れていた。また入選にもれた人も紙一重であった。」

最後に前田前企画担当者より撮影会への熱心な支援、取組みに対し謝辞が述べられた。

★3月例会は23日(土)18時20分開会、府教育会館(合原記)

★今年も“通り抜け”の季節

このところ雨が多く、晴天の休日にはほとんど恵まれず、各クラブの撮影会も困っている様子だ。そうは言っても今年も間違いなく桜が咲きそして散ったかと思うと恒例の造へい局の八重桜が満開、年に一度の“通り抜け”ができるると人気は上々、8ミリの被写体に多くの方がとり組まれたが、今年あたりはビデオ組が大ぜい押しかけるかも。

★春の撮影会は“モトクロス”

新鋭の企画担当河口氏は、春の撮影会のテーマに「モトクロス」を予定され、ロケハンなどで会長と共に想を練っておられる。現地女従業員に出演交渉を行いOKをとられたとか。5月26日を予定しているが、ダイナミックな被写体でOMCに今までなかった撮影会作品になりそう。ご期待の上多くの参加者を望みたい。なお、4月例会で詳細発表の予定。

★3月例会レポート

今月は“冬枯れ”の名残りか

作品が少なく、会長があわてゝリバイバル作品を取りに帰るといふハプニングあり。作品がないと例会も成りたゝないのでリバイバルでもいゝからできるだけ持ってきてほしい。

Aコーナー松川氏「お彼岸」四天王寺境内でのスケッチ。ナレーション入りでうまくまとめられた。つゞいて「津軽」増田氏、53年公開映写会で上映されたリバイバルだが、大宰治の話をうまくからませ、ねぶた祭りをクライマックスに構成された秀作、なつかしく拝見した。

「北条の五百羅漢」江村氏、フジ友の会撮影会作品。Bコーナー「ヨーロッパ旅行・イタリー編」上総氏、奥さんと海外旅行されたときの記録。「郷愁の里・飛騨高山」合原氏、フジ全国大会作品コンテスト入賞作。参考作品「物語」川畑会長の往年の名作観賞会といったところ。

★会費納入月です よろしく。

★4月例会は27日(土)18時20分開会 府教育会館(合原記)

★好天に恵まれた5月大型連休

3～4月と雨続きだったが5月のゴールデンウィークには、かなりの好天に恵まれ、どこも観光地はいっぱいだったとか。会員諸氏の中にはこのときとばかり、じっくりと旅と撮影を楽しんで来られた方も多しと思われるが、今度の例会ではこうした作品が出て来そう。楽しみ方が同えて楽しんだ。

★「モトクロス」撮影会 5/26

先月のニュースでお知らせした通り、5月26日予定通り開催される。例会の翌日になるが、参加予定者は例会には必ず出席してほしい。また、できるだけ多くの出席者を期待したい。

★4月例会レポート

大型連休の前夜祭とも言うべき4月27日土曜の夜が例会日、さすがにいつもより出席者が少ない。気候もよし、仕事より解放されて“大型”旅行へ行かれたのであろうか。

今月はリバイバル作品4本、新作3本の計7本が出品された

他クラブの忘年会を兼ねた撮影会に参加された3名の方が、はからずも作品を持参された。撮影場所は同じでも作者によって作風の違いが同えて興味があった。「湖東三山」今井氏、すっかり上達された。「湖東三山」山形氏、さすが某クラブで1位だったというだけに秀作。心象派的にまとめられた。「冬・湖東三山」前田氏。40年前両親に連れられてきた思い出の地、といった回想形式で綴る。

「OMC撮影会スナップ」小倉氏、9年前びわ湖畔でのOMC撮影会風景、懐かしかった。

「EXPO '70テーマよ何処」6面マルチの特殊技法に話題集中。「有明の表情」合原氏、有明海の豊かな海の幸が印象的。「ペットのQちゃん」川畑氏、P1カメラでとった特撮場面のQちゃんのご愛きよう。思い出の作品集でした。

★今年も公開映写会作品準備を

★5月例会は25日(土)18時20分開会 府教育会館(合原記)

560.6

OMC

'85.6月 No.237

発行 OMC事務局・川畑健二

ニュース

大阪市南区谷町 6-8-13

☎ 昼 352-0486 夜 761-0034

★梅雨入り本番、編集の季節？

季節は確実にめぐり来て、今年も早や梅雨空模様。暑い夏ももうすぐだ。こういうときは日頃撮り溜めのフィルムを整理したり、作品の編集をするチャンスでもある。そして例会にぜひ持参してご披露してほしい。

★撮影会無事終了、あとはどうまとめるか、腕の見せどころ。

モトクロス撮影会は去る5月26日予定通り行われ、盛会のうちに無事終了。いつもの撮影会とはひと味違ったダイナミックな被写体についてフィルムを回わしすぎ？さてこの作品のまとめいかに成りますか、腕の見せどころではある。7月例会日締切同日公開審査。

★公開映写会10月18日(金)決定

恒例の公開映写会は例年通り朝日生命ホールにて行われることになった。いゝ作品が観られるとあってOMC公開映写会に期待して来て下さるファンも多く、8ミリ界今だ健在なのあかしのためにも、ぜひ成功させ

たいもの。今から各位の作品準備をお願いしたい。特に新人の方の出品に期待、よろしく。

★5月例会レポート

すがすがしい5月例会だったが、集まり、作品数とも今ひとつパツとしない例会。作品が集まらないことには例会運営は難しいのでリバイバルでもよいから持ってきてほしい。

上映作品；「ふるさとの里」岡本氏、のどかな田園風景と子どもが主役だがねらいを決めて構成し直されたら良くなるろう。

「浜松まつり凧合戦」那須氏、山場がなく物足りなさもあるがソツなくまとめられた。「大台ヶ原」香島氏、実にたんねんに撮られ画面も美しい。短編に構成し直されたらぐっとよくなるろう、奨励賞。「大台ヶ原紀行」合原氏、香島氏とは対象的な紀行的なまとめをされた。

★6月例会は22日(土)18時22分開会 府教育会館。秦氏フジグランプリ「能登の塩土」観賞予定。乞御期待。(広報・合原)

★ようやく「夏」本番

よく降った梅雨だったが京都祇園まつりが明けると、いよいよ夏本番。若いとき？は暑さも忘れて「夏」をテーマに撮影しに行ったものだが、どうもこの頃はおっくうになってしまつたとなげく人も多いに違いない。

しかし、これも健康法の一つと割り切って、今年の「夏」をテーマに一本つくってみては？

★公開映写会を成功させよう

今年は10月18日(金)朝日生命ホールにて例年通り行われるが、作品準備の方は如何でしょうか？7月例会でテーマ、題名だけでも知らせて下さい。会長がやきもきしています…。

★例会場は避暑地？乞ご出席

暑いときは涼しいところに行きたいのは自然のなり行き。そこが好きな8ミリの集いとなるということなし、のハズ。このところ例会の集まりがもう一つです。皆さんどうかご参集を。

会場は冷房もよく効いていて涼しさは格別…。二次会の楽し

みも待っています。よろしく。

★6月例会レポート

Aコーナー5本、Bコーナー1本、参考作品1本を上映。

「雨の地車」江村氏、氏らしいダイナミックな編集で、変わった視点から地車(だんじり)を描かれた力作、月例賞。「大原の女」那須氏、フジ撮影会作品。川畑会長演出によるもので親切な助言がなされた。「海峡と橋」今井氏、鳴戸のうずしおが中心で迫力十分。音楽とうずしおの音とのバランスに話題が集った。「雲南」上総氏。いつもながらの努力作。稲のルーツを見に行く、という出だしたが全体の構成につき意見続出。

「尾瀬に行く」河口氏、気楽に撮られて成功。「飛騨古川のろうそく作り」杉之下氏、未完成と言われるがなかなかの出来。参考作品「能登の塩土」'78年フジグランプリ作品。

★7月例会は27日(土)18時20分開会、府教育会館。「翼よ」有村作品観賞予定。乞御期待。

「モトワロス」撮影会作品公開審査はです。

OMC

ニュース

★残暑お見舞い申し上げます

暑い日が続いておりますが、会員の皆様お元気ですか。このほどの日航機墜落事故のニュースに驚かれた方も多いと思います。残りの人生?を大切に、8ミリ仲間の益々の交流を暖めていこうではありませんか。

★撮影会作品、江村氏が1位

春の撮影会「モトクロス」をテーマにした作品コンテストは7月例会で公開審査された結果江村氏1位、前田氏2位、今井氏3位と決定した。いずれ劣らぬ出来映えで皆さん熱心に取り組まれた様子がしのばれた。

★7月例会レポート

天神祭も過ぎ暑さも本番の27日、例会場は冷房がよく効いていることをよくご存知の会員諸氏、集まりも上々でスタート。今月は撮影会作品公開審査もあること作品数も多く、定刻一杯、大忙しの上映であった。なかでも有村作品「翼よ永遠に」は主演者が鳴戸大橋開通日に墜落死するというショッキングな

題材だけに、公開映写会では大いに話題になると思われる。

「風みなど」那須氏、映像関西主催の撮影会作品歌謡映画、「太原の女」井脇氏、フジ撮影会作品で川畑会長が脚本、演出されたもの。「翼よ永遠に」有村氏、前作「翼よ」の残りフィルムを大半使った山だが、なかなかの出来。「砂かけ祭」秦さん、数年がかりでまとめられた努力作。撮影会作品上映トップは、岡本さん「夢追少女」テンポのいい音楽に合わせて明るく描かれた。「モトクロス」江村さん、アップの効果を主体に動的編集はさすが。「翔んで翔べ奈奈」今井さん、ナレーション入りで判り易くドキュメンタリー風につくられた。「ガール・オン・ザ・バイク」前田さん、美しい西調はさすが。お得意の「止め写し」のシーンに賛否。「ザ・モトクロス」松川氏、ご年配なのにご熱心によくまとめられた。

★8月例会は第5土曜31日になります。お間違えなき様。(G)

★ようやく秋本番

例年になく暑い日が続きましたが、このところ朝夕めっきり冷え込むようになりました。行楽の秋、撮影会シーズンでもあります。数は減りましたが公開映写会もいくつか用意されているようです。

★OMCニュース衣替え

会員数が40名前後と少なくなり、会費が思うように集まらないので、会計の増田さんより要望があり、従来のハガキによるタイプ印刷をやめ、ワープロによることにしました。ワープロは小倉副会長のご好意に甘えることになりました。これで切手代はかさみますが毎月僅かでも経費節減につながります。

もっとも根本的には会員数の確保にありますので1人でも多くの会員さんが増えますよう皆様のご協力をお願いします。なお、会費が1年以上も未納の会員には、ニュースの送付が出来なくなりますので、ぜひとも継続して会費納入していただくよう願います。よろしく。

★8月例会レポート

台風くずれで久しぶりに小雨降る8月例会日、参加者数が心配されたが、20名を越える会員さんが集まり、ますますの“盛会”。久しぶりに神戸より辰さんの顔も見えられた。辰さんは海外での8ミリコンテストに入賞されるなど、このところすっかり「波」に乗ったご活躍ぶりである。本日も秀作「だんじりのある町」を持参されて意欲十分なところをご披露された。

8月例会は6本が出品されたが公開映写会を控えて見応えある作品が並んだ。

- (1)「翼よ」有村博氏、3年前公開映写会で上映された往年の名作。主人公が大空で亡くなられたというニュースがあるだけに観る方も別の感慨が涌く。
- (2)「私と陶芸」野村公威氏、お隣へ引越してこられた方が“陶芸家”。頼まれてつくった由で、こういう作品は始めてで不満足な作とのことだが、しかしさすがにうまくまとめられている。
- (3)「重信さん」前田茂夫氏、吉野の山奥へ何回も足を運ばれてつくった努力作。公開映写会での本番が楽しみ。
- (4)「ふるさと大毛島」今井羨美氏、タイトルが間に合わなかったのが残念。大鳴門橋開通に合わせ、その近くにある故郷へ父娘で訪ねた、というストーリー。有名になった「橋」とうずしおのイメージが強過ぎる感があるが構成の手直しでぐっとよくなろう。月例賞
- (5)「だんじりのある町」辰 朝次郎氏 神戸和田神社のだんじり祭りを中心に前後に庶民の生活をにじませ、音の効果も活かしたなかなかの秀作。見応えのある作品であった。なお、本作品は銀の会で公開映写された作品のため参考作品として見させていただいた。
- (6)「とんぼ仲間」上総修一郎氏、まだ未完成でサイレントだが作者の直接の解説で上映されたが超努力作。完成がまたれる作品だ。

★10月18日公開映写会 乞動員ご協力。

★東京「虹の会」による名画観賞会は10月5日(土) 6時谷六、薬業年金会館。

★9月例会は28日(土)府教育会館。秋の撮影会企画発表有乞御期待(合原記)

★今年『トラ』年？

職場でも街でも、そして一杯呑み屋でも、何故か『トラ話』云わずと知れた阪神タイガースの優勝バナシ。おかげで阪神以外のファンは元気がない？パ・リーグ球場のガラ空き風景にくらべ甲子園球場のあの熱気はどうだろう。優勝決定戦の狂気ぶりが今から思いやられる。が、8ミリマンは20年に一度しかない？このワンチャンス（今後、あなたが生きていく間にタイガースが再び優勝するチャンスがあるかどうか保障の限りでない？）を逃がすてはないと思われるが、ひとつ作品に挑戦してみたいか？来年度のOMC公開写真会ではトラファンで場内構員御礼が出るかも・・・。

★9月例会レポート

9月例会日の28日（土）は、ちょうどアニメの公開写真会日と重なり、若干の会員さんがそちらへ流れたとみえて、集まりが悪かったのは残念。そのせいもあったのか作品もリバイバルを入れて3本だけという淋しさであった。公開写真会はできるだけ各クラブの例会日避ける原則を守ってほしいものである。

■ 上映作品

☆「ふるさと大毛島」今井羨美氏 10分
先月上映されて皆より指摘があったところを撮り直し再編集されて持参されたものだが、なかなか良くなっている。地図を入れられたが、市販の地図をそのまま入れてもかえって判りにくいので、ポイントだけ抜き書きした方がよいのでは

なかろうか。音切れカットも気になる。

☆「絲綢之路」小倉宝蔵氏 19分
難しい字だが、きぬのみち、即ちシルクロードという意味らしい。中国大陸の壮大なシルクロードを車で追っかけられた。灼熱の太陽が照りつける砂漠の道、この過酷な自然の中にも、いにしえの人たちが残した文明があった。

作者は、気に入らないところがあるのでもう一度撮り直しに行きたい、とは何ともうらやましい話。

☆「穂高を行く」増田栄一氏 16分
昭和50年頃、公開映写したりバイバル作品。10年前とは思えない発色の良さにもまず驚かされた。10年たっても変色しない証しでもあろう。3,000mを越す高峰に三脚とカメラかついで登る。しかもご自分までがっちり自演されているがその努力には脱帽である。なつかしの増田氏の山登り映画であった。

★撮影会は1泊2日で11月23～24日予定
秋の撮影会は当初11月3～4日と予定されていたが、当日支障のある方が多く今のところ11月23～24日の線が強い。
場所は丹波立杭の里で立杭焼が主な撮影素材。担当の河口氏の手で企画が進められている。多数のご参加をお待ちします。
★11月例会と12月例会は第3土曜になります。いつもより1週間早くなりますので今からお知らせしておきます。
★10月は会費納入月、ご協力ください。
☐10月例会は26日（土）府教育会館。リバイバルでも結構、作品持参乞（合原）

★このところ“トラフィバー”で大変な騒ぎだったが、終ってみればまるで静かなもの。来年までお預けといったところか。ところで、この熱狂ぶりを8ミリにおさめた人があるのかいないのか興味しんしんたるものがある。

さて、秋も早や晩秋を迎え、色彩豊かなまことに結構な8ミリの季節。いろいろなクラブが撮影会を企画されているが当クラブは企画の河口氏が立杭焼を素材に一泊で計画された。親睦会も兼ねているのでぜひ会員諸氏の多くの参加を期待したい。

★10月例会レポート

会費納入月ということであえて例会を欠席される？わけでもあるまいが、集まりも作品数もいまひとつ。来月を期待しつつ上映開始。トップバッターは上総氏「ヨーロッパ旅行」ご夫婦でツアーに参加され気軽に撮って来られたというのが、なかなかうまくまとまっている。ツアーでの団体行動でよくあれだけ撮れたものと感心の声しきり。欲を言えばポイントになるものがほしいとは会長の評。

「雨の穂高・上高地」有村氏。今年10月中旬に山へご夫妻で行って来られたときの記録。毎年のようにお元気で高い山へ登られているが、ご健康のあかしでもあろう。曇天で残念だったが色はしっとりとして画面にも詩情がただよってくる。

三脚とカメラを持って登って来られるご努力には見習うものがある。大変結構でした。

「能登の旅」香島さん。東大阪清友会のバスによる旅行記録。撮影目的が関係者に見ていただくもの、ということなので、作品として云々は的はずれではあるが、ていねいに撮ってある。車中や旅館での室内撮影が主なので露出不足は歪めないが、明るい照明をすると嫌がる人やカメラを意識したりする人が出たりで難しくなる場合があり、むしろビデオの方がこういう場合は有利か。8ミリで撮って第三者にも判らせるようにするには、ナレーションを入れるとか、外での行動を主にするとよい。音楽も、もう少し軽いもので、バスの中と旅館の中、外と大きく画面替わりのところでは選曲を変えるとムードも変ってよいと思う。

「35年目の夏」小倉氏。5年ほど前に公開映写会で上映されたリバイバル作品。

カットの使い方など小倉氏らしい計算された切れ味で大いに参考になる。

★撮影会は11月23、24日

河口氏より撮影会のシナリオが配布され参加を呼びかけられた。参加費は一泊のため12,000～13,000円程度（参加者数により左右される）。参加希望者は河口氏まで申込みのこと。当日は朝8時、例会場の教育会館前集合、車で現地へ向う予定。雨天決行（懇親会だけでも価値あり？それとも「立杭雨情」もよいかも）

※11月例会は第3土曜16日になります。お間違えのない様ねがいます。なお、リバイバル作品でも結構ですから作品お持ち下さい。（合原記）

560.12

★今年も早や師走……

時のたつのは早いもの、今年もいつの間にか師走…。暖冬かと思っていたが昨日今日の冷え込みはさすがに12月だ。何かと気忙しい年の暮れではあるが、本年最後を締めくくる意味で12月例会だけは満員盛況?でいきたいもの。どうか御出席のほど願います。二次会で大いに語り合いましょう……。

★撮影会、晴のち雨……

秋の撮影会は11月23、24日の連休を利用し、立杭の里で行われた。初日はまずまずの好天で、焼物の製造過程の一端と一部屋外での撮影が予定通り行われたが二日目は、何の因果か朝からしとしと雨でがっかり…。待てども晴そうにないので昼前あきらめて帰途についた。撮影会作品に仕上げるには中途半端となり、もう一度立杭へ行く必要があるが、時間の都合のつかない人もあり、作品の出来不出来はその後の熱心さ次第になる…?

★60年度例会における“盛会”ぶり調べ

60年度(59.10～60.9)出席状況の記録を調べた結果、平均出席率57%、延262人、例会1回当たり約22名(昨年は延255人で1回当たり約21名)で昨年よりちょっぴり上向き。12回皆勤“賞”者は、川畑、小倉、増田、前田、河口、合原の6氏。11回組は今井、上総、浜見、堀池の各氏。10回は岡本、田中の各氏。

作品の方は、昨年と全く同数の延69本1回平均5.8本、出席者の出品率26.3%4人に1人が作品持参の計算でした。

以上の数字は、いいか悪いかは別にして、今年も一つ頑張っていきましょう!

☆11月例会レポート

11月例会ともなるとさすがに冷え込んでくる。そのせいでもあるまいが会員の集まりも20名を切り、作品も4本どまりであった。他クラブにくらべてまだ“盛会”の方でっせ、という声もあるが、OMCの伝統ある火を消さないためにも、もう少し出席者を増やし、作品も数本以上は確保したいものである。こういう自主的クラブは会員相互の協力がないと成り立たないので、万障繰り合わせの上、ご出席される様お願いしたい。また、前向きのご意見もどうぞ。

さて、上映作品のトップは小倉副会長の往年の名作『淀川』。’74年公開映写会で発表された作品だが、11年前とは思えない色彩、音質でびっくり。内容も空中撮影も混じえてなかなかの大作。

『朝食はクロンで』上総修一郎氏8分
バンコク旅映画。川辺の現地人の生活ぶりをナレ入りで解説。朝食シーンが無いので題名への疑問がだされた。

『魔性の刀』那須典彦氏10分、東映映画村での撮影会作品。本職だけに迫力大

『奥会津の譜』前田茂夫氏15分。46～47年に撮影されたSL映画。詩情が伝わってくる名作。SL時代が懐かしい。

最後に増田氏より会計報告があった。

☑12月例会は第3土曜21日です。お間違えのない様ねがいます。なお、リバイバル作品でも結構、どうぞお持ちを。